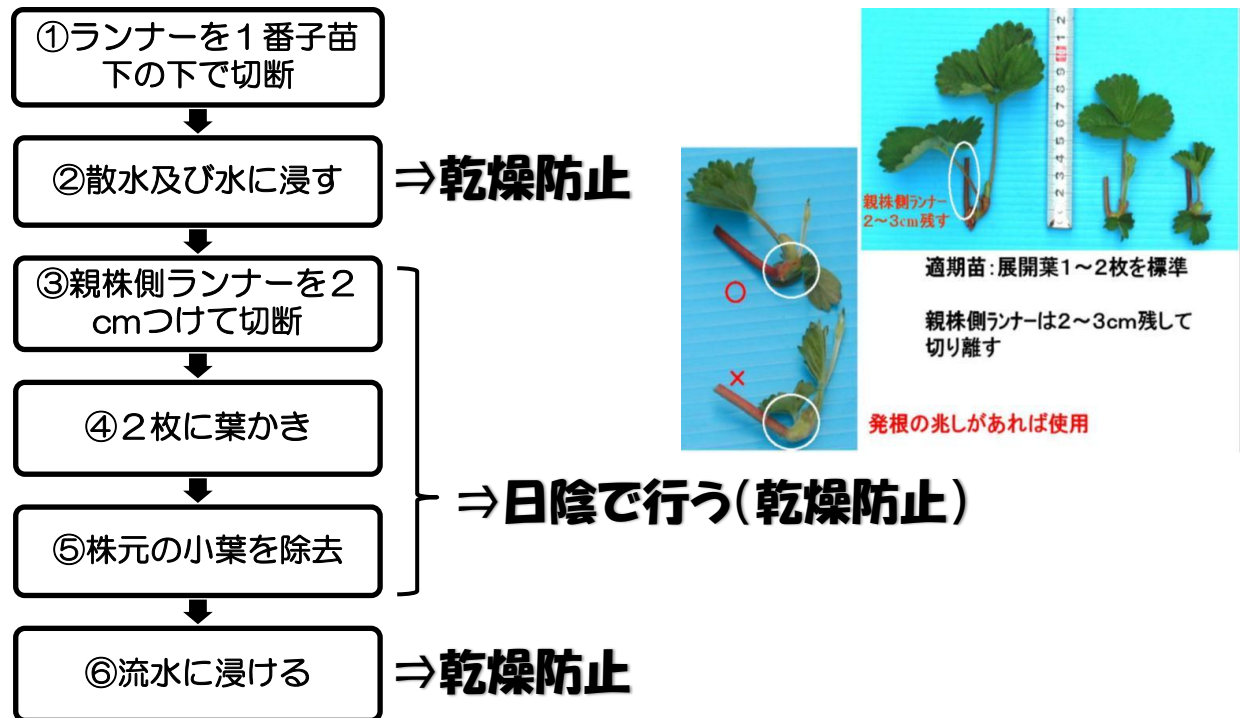


平成 27 年 7 月 17 日

「越後姫」の育苗期の管理について

新潟西部地域農業振興協議会
巻農業普及指導センター

1 採苗の手順とポイント



* 保存する場合は、ポリ袋に調整した子苗を濡れ新聞紙に包み込み密封翌日までなら室温、数日にわたる時は5℃の冷蔵庫に入れる

Point

- ☆ 適期苗 (展開葉 1~2枚) を用いましょう。
- ☆ 9 cm ポリポット を基本育苗容器として、採苗前には培土の排水性を確認しましょう。
- ☆ 子苗の調整中は子苗の乾燥に注意しましょう。
- ☆ 培土構成 (参考) : 赤玉土 (小粒)、ピートモス (細粒)、くん炭の等量混合で原則無肥料。

2 育苗管理とポイント

(1) 挿し苗～活着まで

Point

- ☆挿し苗後は十分なかん水を行い、活着する約7～10日後まで苗の萎れに注意し、適期かん水を行う。
- ☆ハウス内もしくは屋外で育苗しましょう。
- ☆遮光率50%程度の寒冷紗を被覆し、苗が萎れないように適時葉水を行いましょ
- ☆寒冷紗は、活着を確認したら夕方に除覆する（ポット脇穴への根の伸長や葉先からの水滴）。
- ☆除覆後の新葉の凋れに注意しましょう（日中かん水は行わない）
- ☆薬剤の散布は活着後に行う。

(2) 活着後

①肥料施肥

⇒IB 化成(N 成分量 140mg) + 液肥 500 倍液

②葉かき、ランナー除去

⇒展開葉

8月:2～3枚

9月:4～5枚

③花芽分化処理



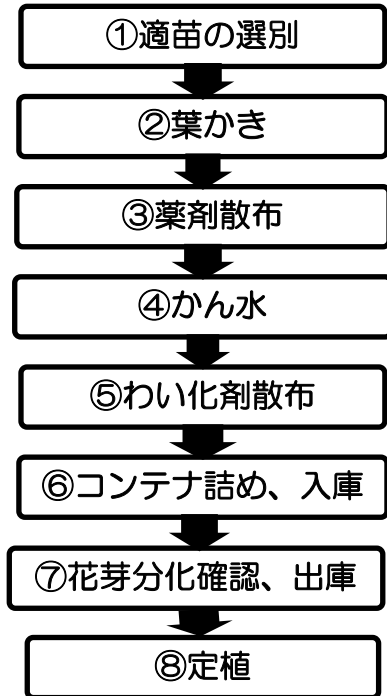
苗の生育:左から10日、20日、30日

Point

- ☆9月上旬には肥効が切れるようにしましょう、超促成栽培では花芽分化処理から逆算して肥効が切れるようにしましょう。
- ☆肥料不足の場合、かん水量の調節及び液肥を適時施用しましょう。
- ☆8月中のかん水は朝、夕の2回十分に行いましょう。9月以降はやや乾かし気味とし、夕方かん水により地温の低下に努めましょう（日中に萎れる場合は葉水で対応しましょう）。
- ☆こまめに葉かきを行い、うどんこ病などの防除効果を高めましょう。
- ☆超促成・スーパー超促成作型花芽分化処理は定植の25日前から行いましょう。

3 超促成作型及びスーパー超促成作型における花芽分化処理とポイント

(1) 暗黒低温処理（冷蔵庫）



特徴

- 冷蔵庫のみで処理可能
- 処理期間中（25日）の管理労力が不要
- 越冬苗を使用した適正な苗の使用が不可欠
- 開花率は約80%

Point

- ☆苗重のある大苗(35~40g)を処理しましょう。
- ☆処理前の薬剤の散布、わい化剤の散布で病虫害の防除及び徒長防止に努めましょう。
- ☆最適温度(12℃、25日)を維持しましょう。
- ☆花芽分化を確認しましょう。

(2) 短日夜例処理



特徴

- 遮光処理施設及び夜間冷房装置が必要
- 約25日間朝夕の寒冷紗開閉と苗管理が必要
- 開花率はほぼ100%

Point

- ☆100%遮光できるフィルムを使用し、約25日間朝夕の開閉を徹底しましょう。
- ☆薬剤の散布で病虫害の防除に努めましょう。
- ☆日長条件(明期8時間、暗期16時間)と最適温度(12℃)を守りましょう。
- ☆花芽分化を確認しましょう。